

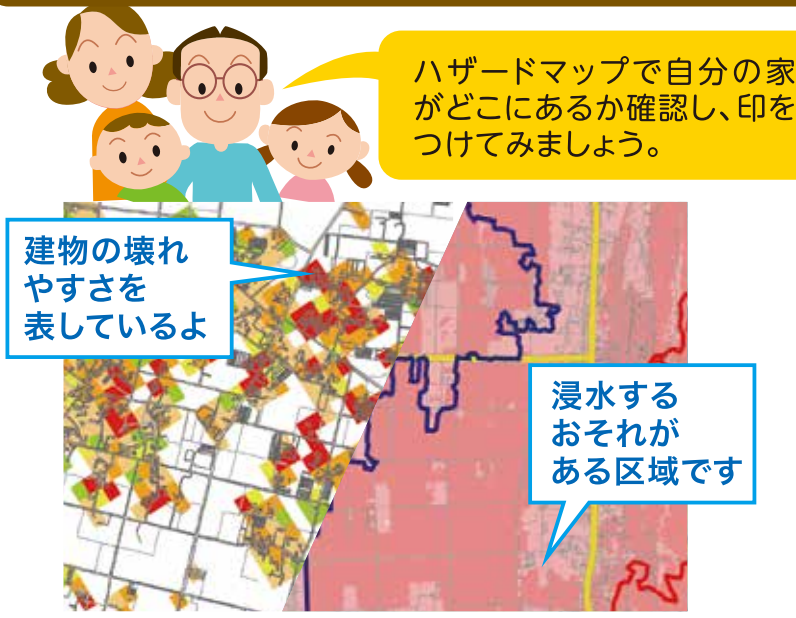
# 山武市ハザードマップ

## 地震・津波編

### 地震・津波時の避難について

近年大規模な地震が日本各地で頻発していますが、家の内外でしっかりとした安全対策をすることで家族の命を守ることができます。また、地震によって津波が発生した場合には、正しい知識と自分の生活する場所の特性に応じ、適切な避難が行えるように準備しましょう。山武市ではハザードマップ洪水・土砂災害編も作成しています。一緒に保管し、いざという時の行動に役立ててください。

### ハザードマップでわが家の危険度を知ろう



地震	
建物被害想定（全壊率）	
30%以上	赤
20%以上 30%未満	オレンジ
10%以上 20%未満	黄
5%以上 10%未満	緑
0%以上 5%未満	青

津波	
津波浸水想定区域（浸水深）	
10.0m以上	赤
5.0m～10m未満	オレンジ
3.0m～5.0m未満	黄
0.5m～3.0m未満	緑
0.5m未満	青

### 避難行動のポイント

- 自分が閉じ込められた時は、あわてず、笛を鳴らしたり、近くにあるものを叩き音を出して、周囲に存在を知らせましょう。
- 車では逃げない!! 道が混んでしまい、走って逃げるよりも遅くなる可能性があります。車ごと津波に流される危険性もあります。
- 一度避難したら戻らない!! 津波は1回だけではなく、数回やって来ることもあります。また1回目より2回目以降が高くなる場合もあります。

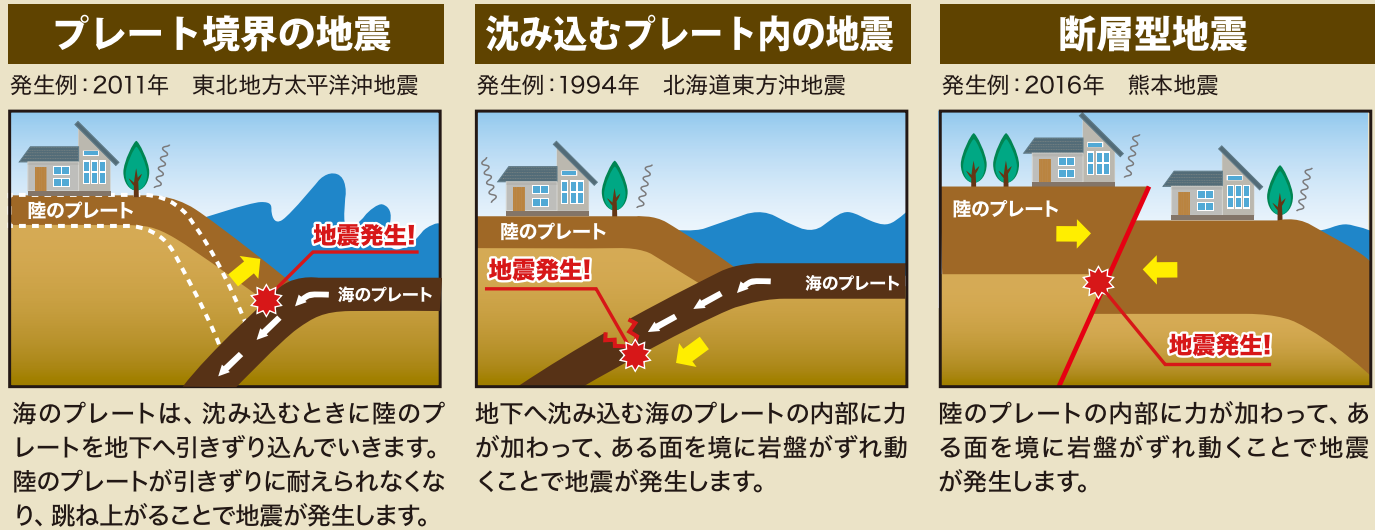
令和3年3月 山武市

## 地震について

### 地震発生の仕組み

#### 地震の種類と起こり方

地震は、地下で起る岩盤のずれにより発生する現象です。岩盤のずれは周囲から何らかの力を受けることによって起こります。この岩盤のずれが起こると地震波が周囲に伝わり、やがて地表に達すると地表が揺れます。地震発生のメカニズムは大きく分けて3種類あります。



### 震度と揺れの状況

震度	状況
震度4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまると感じる。
震度5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
震度6弱	立てないことが困難になる。耐震性の低い木造建築物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。
震度6強	はわないと動くことができない。飛ばされるものも数多くある。耐震性の高い木造建築物も、傾くものや、倒れるものがある。
震度7	耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものも数多くある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。

## 地震発生時の行動について

地震はいつでも発生するかわかりません。場所別、状況別に危険回避のポイントを覚え、とっさの状況でもあわてず行動できるようにしましょう。

### 屋内では

- 家の中**
  - 寝ているとき
    - 布団やまくらで頭を保護し、家具が倒れてこないところへ身を伏せましょう。
    - 暗闇では割れたガラスなどでケガをするおそれがあるため、スリッパを枕元へ用意しましょう。
  - 調理中
    - 可能であればすぐに火を消しましょう。ただし、大きな揺れの場合は鍋などが滑り落ちてくるおそれがあるため、無理はせず、揺れが収まってから火を消しましょう。
    - 冷蔵庫や食器棚などが倒れてくるおそれがあるため、なるべく早めに台所から離れましょう。
  - エレベーター
    - 全ての階のボタンを押して、最初に停まった階で安全を確認し、階段で避難しましょう。
    - 閉じ込められたら、無理に脱出しようとせず、非常ボタンなどで外部と連絡をとり、救助を待ちましょう。
  - 集合住宅
    - 余裕があればドアや窓を開けて逃げ道を確認しましょう。
    - 避難する時はエレベーターは絶対に使わず、階段を使って避難しましょう。
  - 乗り物に乗っているとき
    - 車の運転中
      - 急ブレーキは事故を起こす原因となります。ハンドルをしっかりと握ってハザードランプを点滅させながら、少しずつ速度をゆるめ道路の左端に停車しましょう。
      - 揺れが収まるまでは車から出ず、カーラジオなどで情報を収集しましょう。
      - 車を離れるときは、窓を閉め、カギをつけたままでアロックをせず、貴重品や車検証を持って出ましょう。
    - 電車やバスに乗っているとき
      - 座っている場合は、カバンなどで頭を保護し、上体を前かがみにし、前の座席をつかむか、足を踏んばりましょう。
      - 立っている場合は、手すりやつり革などにしっかりとつかまり、急ブレーキに注意しましょう。
      - 係員や運転手の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
- 学校**
  - 教室では机の下などに隠れましょう。
  - 廊下、体育館などではガラスから離れ、中心部にしゃがみましょ。
  - 先生の言うことをよく聞き勝手に帰宅をしないようにしましょう。
- スーパー・デパート**
  - 買い物かごや手荷物など重い物は落とさないように持ちましょう。
  - 倒壊の危険があるブロック塀や石壁などから離れましょう。
  - また、自動販売機の転倒にも注意しましょう。
- 屋外では**
  - ガラスや看板などの落下物に注意し、カバンなどで頭を保護しつつ、広場などで避難しましょう。
  - 倒壊の危険があるブロック塀や石壁などから離れましょう。
  - また、自動販売機の転倒にも注意しましょう。

## 地震対策について

最も手軽で有効な地震対策は、家具の転倒・落下を防ぐ対策と、家の周囲のブロック塀点検・補強などの安全対策です。普段から家の内外を点検して、以下のような対策を進めておきましょう。

### 室内の安全対策

- 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない**

就寝中に地震に襲われると危険です。家具の転倒により、子どもやお年寄りなどは逃げ遅れる可能性があります。
- 家の中に逃げ場をつくる**

部屋がいくつもある場合は、人の出入りの少ない部屋に家具をまとめて置きましょう。難しい場合は、少しでも安全なスペースが確保できるよう、配置換えをしましょう。
- 出入り口や通路に物を置かない**

出入り口までの通路に、家具など倒れやすい物を置かないようにしましょう。また、いざというときにすばやく屋外に出られるよう、日頃から出入り口周辺は整理しておきましょう。

### 家具別対策ポイント

- 冷蔵庫**

冷蔵庫裏面のベルト掛けにベルトを通して、壁に固定してください。
- 食器棚**

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷きましょう。重い食器は下に、軽い食器は上に置きましょう。扉が開かないよう止め金具をつけましょう。
- タンス・本棚**

L字金具や支え棒などで固定しましょう。二段重ねの場合はつなぎ目を金具しっかりと連結しておきましょう。
- テレビ**

市販の固定ベルトやひもなどを使って、テレビ台や壁などへ固定しましょう。
- 窓ガラス**

飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ブロック塀・門柱**

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものも危険なので補強しましょう。ひび割れや鉄筋のさびも修理しましょう。
- プロパンガス**

ボンベを鎖で固定しておきましょう。

### 家の周囲の安全対策

- 屋根**

屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。
- ベランダ**

植木鉢などの整理整備をしましょう。落ちる危険がある場所には何も置かないようにしましょう。

## 避難に役立つ情報について

### 情報入手先

- Push型の情報**
  - 防災行政無線
  - 山武市安心安全メール
- Pull型の情報**
  - NHKデータ放送
  - 千葉県防災ポータルサイト

### 関係連絡先

種別	名称	住所	電話番号
行政	山武市役所総務部消防防災課	股台296	0475-80-1116
消防	山武都市広域行政組合消防本部	東金市家徳384-2	
	山武都市広域行政組合東消防署	上横地6710	119 (火事・救急)
	山武都市広域行政組合東消防署山武分署	堀谷1874-1	
医療	さんむ医療センター	成東167	0475-82-2521
	山武市国保さんむの森診療所	堀谷1904-3	0475-71-2888
ボランティア	山武市社会福祉協議会	白樺1627	0475-82-7102
警察	山武警察署	富田の1177-3	0475-82-0110
	東京電力パワーグリッド(株)カスタマーセンター		0120-995-007
ライフライン関連	山武都市広域水道企業団(成東・松尾・蓮沼地域)	東金市家徳361-8	0475-55-7851
	山武市役所水道課(山武地域)	堀谷1884-2	0475-89-3647
	大多喜ガス(株)成東サービスセンター	成東650-7	0475-82-0800
	NTT東日本	(故障)	113
			171

### 非常持ち出し品

- 携帯ラジオ・携帯電話**

携帯電話充電器、電池など
- 懐中電灯**

できれば1人に1つ。予備の電池も忘れずに。
- 貴重品**

現金、預金通帳、印鑑、健康保険証、権利証券など
- 救急医薬品**

常備薬、絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤など
- 非常食品**

カンパチ、缶詰など火を通さずに食べられるもの。缶切り、給湯器、ミネラルウォーター、紙皿、紙コップ、水筒など
- その他**

上着、下着などの衣服、タオル、寝具、靴、懐電、懐中電灯、ヘルメット、ライター、雨具、ウェットティッシュ、ビニールシート、ラップフィルム(止血や汚れた衣類にがぶせて使う)

### 災害伝言ダイヤル

171 「録音」するとき → 1 → 自宅の固定電話番号(市外局番から) → 「録音」する(60秒以内)

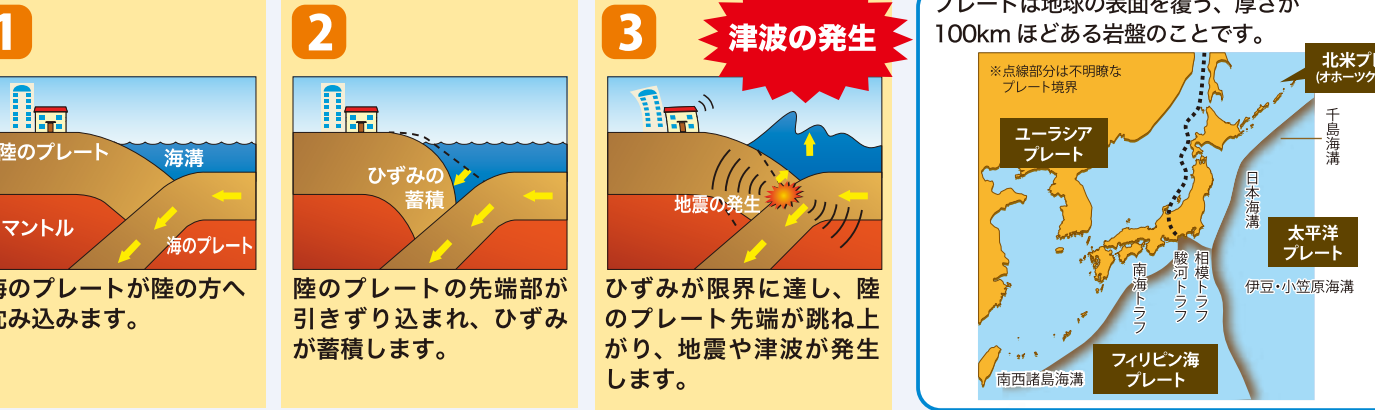
「再生」するとき → 2 → 自宅の固定電話番号(市外局番から) → 「再生」が始まる

### 災害伝言板

NTT東日本 Web171	NTTコム 災害伝言板	KDDI 災害伝言板	Softbank 災害伝言板
---------------	-------------	------------	----------------

## 津波について

### 津波発生の仕組み



### 津波の特徴

- 2波、3波と繰り返す**

津波は繰り返してきます。必ずしも第1波が最大とは限りませんが、津波注意報や津波警報が解除されるまで注意しましょう。
- 深海ではジェット機並の速さ**

津波の速さは、海の深さに関係し、水深5000mでは、ジェット機並の速さになります。水深が浅くなるほど速度は遅くなりますが、水深10mの海岸近くでも時速36kmあり、この速さはオリンピックの短距離選手並の速さです。
- 予想が困難**

津波の高さと地震の大きさは必ずしも一致しません。そのため、地震の揺れが小さくても大きな津波が発生することがあります。
- 河川の遡上(逆流)**

津波は河口から河川に侵入し、何kmも上流に遡上(逆流)することがあります。遡上した津波が、河川堤防を越えて沿川地域に大きな被害をもたらすことがあります。

## 津波発生時の行動について

### 津波注意報・警報

気象庁は、地震が発生した際には地震の規模や位置をすぐに推定し、これをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分(一部の地域※については約2分)を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

想定される被害	高さのイメージ	とるべき行動
想定される被害: 大津波警報(特報警報)	高さのイメージ: 10m以上	とるべき行動: マップの浸水域や海岸、川の近くに居る人は、ただちに近くの山武市が指定した浸水被害の無い避難場所又は高台などに避難。
想定される被害: 津波警報	高さのイメージ: 3m以上	とるべき行動: 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
想定される被害: 津波注意報	高さのイメージ: 1m以上	とるべき行動: 海の中では人は強い流れに巻き込まれ、また、船はかたがた流失し小型船舶が転覆します。

※日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の高い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

### 避難の心得

- ①高い所へ避難!**

揺れがおさまったら津波警報などの発表を待たず、身一つで逃げましょう!
- ②戻らない!**

津波は繰り返し襲ってきます!津波警報が解除されるまで沿岸部には絶対戻らないようにしましょう!
- 避難時の注意**
  - あわてずにガラスの破片や瓦など、足もとに注意して落ちて行動しましょう。
  - 海岸、河川から離れる
    - 注意報、警報が解除されるまで海岸や河川には近づかないようにしましょう。
  - 歩いて避難
    - 車の移動は渋滞を招きます。徒歩で避難しましょう。
  - がけ崩れに注意
    - 津波の揺れによって崩れやすくなっている可能性があります。
  - 狭い道やブロック塀に注意
    - ブロック塀や自動販売機などの転倒に注意しましょう。

### 山武市の取り組み

山武市では、山武都市合同シェイクアウト訓練などの防災訓練を開催しています。災害時にあわてることなく避難し、命を守れるよう、積極的に参加しましょう。シェイクアウト訓練とは、アメリカをはじめ世界に広まっている防災訓練です。地震が起こったとき、素早く3つの行動をとれるよう自主的に訓練するものです。

【問い合わせ先】山武市 総務部 消防防災課 TEL: 0475-80-1116

**DROP! COVER! HOLD ON!**

まず低く 頭を守り 動かない

## 火災対策について

### 家の内部の安全対策

- 早く知らせる**
  - 「火事だ!」と大声を出し、隣近所に援助を求めると、声が出なければ、やかんなどを叩き、異常を知らせましょう。
  - 小さな火でも119番に通報しましょう。当事者は早急な消火に当たり、近の人に連絡を取らなければなりません。
- 早く消火する**
  - 出火から3分以内で消火できる限界です。
  - 水や消火器だけで消そうと思わず、布や毛布で火を叩く、毛布で覆うなどの手近なものを活用しましょう。
- 早く逃げる**
  - 天井に火が燃移った場合は、消火はあきらめてすぐに避難しましょう。
  - 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを開けて空気を絶ちましょう。

### 火元別初期消火

- 衣類**

着火したら脱ぐ。たたくなどして消火を止めず、火元を移動させよう。
- 油なべ**

あわてて水をかけると感度の危険があります。必ずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火をしましょう。
- 電気製品**

いきなり水をかけると感度の危険があります。必ずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火をしましょう。
- 石油ストーブ**

真上から一気にかかると感度の危険があります。斜めから近づき、火元を移動させよう。
- カーテン・ふすま**

カーテンやふすまなどが着火したら、着火元を移動させよう。

### 防火のポイント

- 放火対策**
  - 家の周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
  - ゴミは収集日の朝に出しましょう。
  - 車のタイヤには防火製品を使いましょう。
- 電化製品**
  - コンセントに挿したプラグにほこりをためないようにしましょう。
  - たこ足配線はしないようにしましょう。
  - コードを束ねたり、重い物を乗せないようにしましょう。
- コンロ**
  - 油料理の際は火を離れないようにしましょう。
  - 周囲や上部に燃えやすい物を置かないようにしましょう。
  - 料理中は着衣への引火に注意しましょう。
- ガス・石油器具**
  - マッチやライターなどは子どもの手の届かない場所に保管しましょう。
  - ストーブの近くで洗濯物を干さないようにしましょう。
  - 石油ストーブの給油は完全に火を消してから行いましょう。
- 火遊び**
  - マッチやライターなどは子どもの手の届かない場所に保管しましょう。
  - 花火をするときは必ず大人と一緒にしましょう。
  - 石炭ストーブの給油は完全に火を消してから行いましょう。
- たばこ**
  - 寝たばこは絶対にしないようにしましょう。
  - 大きめの灰皿を使い、常に水を入れておきましょう。
  - 吸い終わりは水をかけて生ごみと一緒に捨てましょう。

### 「通電火災」にご注意を!

通電火災とは、地震などによる停電が復旧し、通電が再開される際に発生する火災のことです。阪神・淡路大震災では、原因が特定できた火災の6割が通電火災でした。避難の際には、必ずブレーカーを落としてから避難しましょう。山武市では感震ブレーカーの設置を推奨しています。感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知する機能を持ったブレーカーで、揺れが一定以上大きくなると、電気を遮断します。